



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して



名前は裏面に記入してください

私かこの話を聞いて分かった事、
 そしてきょうみを持った事は、熱線
 ・衝撃波・放射線、そして原爆病という
 キーワードです。「衝撃波」が、毎秒 440m
 という事がおどろきました。原爆にあった人は、
 衝撃が起きて、「え？」と考える余裕も
 なく、熱線がせくなってしまう事が本当
 の事なんだ、と思いました。そして、放射線の
 せいで、今も亡くならなかに居るのに、苦しんで
 いる人がいる、原爆病に苦しんでいる人が
 居るということを、自分でも、意識したり、
 自分も、嫌な事は多くあるけど、もっと苦し
 く、嫌な事もあつたんだ、と思つていけば、
 乗りこえていけたりするのかなと思つてます。
 そして、この場合は、被爆者の方へ、そして
 原爆に対して、戦つていゝる人、たくさんの方
 人の事を考えたりして、もっとか人は
 水さように生きていきたりし、もっと
 考えられるようになつたりと思つてます。



名前は表紙に記入してください

原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して



原爆の話をはじめりから終わりまで
聞いていて思ったのは、行ったことのない
広島の話でしたが、資料をもとにして
爆だんのことや原爆先生のお父様
の話など今まで聞いていなかったこと
もくわしく学べて広島に関心をもち
ました。話を聞いているうち、資料館
に「ちよ、と行きたいかも」という気持ち
がでてきました。そこに展示されていた人
形の二つを笑しすぎる」とほめた理由
について話の後ちよ、と考えました。
いくらひどい姿でもどんなに痛くても
できる限り乗りこえようとしていた人の姿
だったのかもしれません。兵隊の目線から
見て助けを求めるとかわいそうな人た
らしくトラックにひっついてきてもけっきょく
その人たらは助けをもらうことはできませ
んでした。兵隊の人たらはそれに対して何も
悪くないと思われました。一人、二人と助けられ



各前以要例に記入してください

原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して



ぼくは原爆先生に話を聞いて3つわかった
ことがあります。1つ目はせつたいに戦争
をしないほうがいいということです。
まだ戦争をしなかったら、こんなつらいこ
とはならないと思いました。2つ目は、
原爆の時につかつたウランというねんりょう
は福島原子力発電所にもあるねん
りょうということがわかりました。な
ので「福島で大爆発がおこらないよう
にしてほしいです。3つ目は、原爆ドーム
とは広島産業奨励館だということ
がわかりました。なので原爆ドームに一度
だけ行ってみたいと思いました。ぼくは
原爆先生から話を聞いて「決して
戦争はゆるされることではない」と
いうことを学びました。そしてその原爆
がおとされた所に一回だけ行って
みたいで。今回話を聞いてすごく
勉強になりました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して



原爆先生の授業をうけて、私が思ったことは、原爆のこゝろです。これまで、私は、原爆のことをあまり知りませんでした。たぶん、「ばくだんをおとして、大きくばくはつした。」としか、思っているまいな。たのでしょう。しかし、本当のことを聞いて、表現ができないう、こゝろのような、きんちょうしたような気分でした。

たので、少し、私かもしその場にいたらう。と思つていました。「兵隊さんのように、みんなを助けることかできたか。にげてしまわないだらうか。」と考へました。

原爆先生のお父さんが、資料館に行つた時、にげている人のレゾリカの前で、一言「きれいすぎる。」と言つたそうです。理由は分かりませんが、自分の考へでは、本物の見てこゝろを知つてしまつたり、なつてしまつたことから、人のレゾリカが、あるときより(原爆)よりも、ずつときれいだ。と思つたんだと思ひます



名前を裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう



原爆は、怖くて、リトルボーイ
 約45トン重さは、3.12mもあり
 原爆が落ちたところに、14万人もの
 人が、死んだのは、すごく、かわい
 そうでした。断片は、ほにもほくほり
 けむりは、手の型に、たて上へ上かっ
 ていきました。性別が、かわりほくほる
 らい体が、焼けていた。階段に、すわ
 っていた人の、体の水分が、蒸発してしま
 った。階段に、すわっていたあとが、残
 っていた。2人が、被爆者を見たのか、あ
 りました。顔や足は、赤くほり。兵隊さん
 助けて、と苦しんでいる人たちは、兵隊さん
 たちを、一生懸命、呼んで、子供たち
 や、自分、それ、みんなを助けることに、
 専念、しているようにも、私は、動画
 を見て、思いました。泣き、泣い
 ている子供や、兵隊さん、助けて、と
 いう人が、いと、若くして、原爆に、罹り、思
 いました。



名前を正確に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう



私は戦争を体験していないが、今回の特別授業を通して、戦争を体験した人々の苦しみや悲しみがすこく伝わってきました。また、ゴルフボール一つの原爆で広島を火の海にしてしまうなんて戦争の恐怖を感じました。また、池田義三さんが皮膚が溶けている人やヤけどをしている人を多く見て、辛い気持ちになりました。また、太陽より熱い温度で小さい子どもから大人まで生きようとしていることから、自分達がどれ程幸せであるかを考えることができました。また、原爆が落ちた時にできた「原爆雲」はSのようになったり、とても大きい爆発音でその場にいた人はとても怖かったと思います。また、原爆に人の水分がうはあめ、いっしょんにして人がいなくなってしまうことは、恐怖であると思います。また、池田義三のビデオを見て、人が目の前から消えていく恐怖が伝わり、戦争を通して、死んでしまった人がかわいそうだなと思いました。改めて、戦争で喜ぶ人など

特定非営利活動法人原爆先生 <http://hiroshima9.com> post@hiroshima9.com

んていいよということになりました。



※前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

査

私は、原爆先生の特別授業を受けて、
原爆の怖さを知りました。

私は今まで、8月6日に広島、8月9日に長崎
に原爆が落ちた事は知っていたけど、

どんな状況だったのかとか、深くは知
らなかつたので、お話を聞けて良か
たです。一番印象に残った話は、

原爆の温度が太陽よりも熱かった
事です。7000度もの熱をどうやって

出したのか疑問になりました。

そして、原材料の「ウラン」が、1kgだけ
でなく60kg全て爆発したらどうなる

のか、温度は変わるのか、とても
気になりました。

そして、被爆者の人達の話を聞いた
時、ひんがはがれたり、全身に火傷を

おうなんて、想像しきれないほど

痛そうで、もう原爆や戦争なんて絶体

してほしくないと思いました。そして、原爆の

特定非営利活動法人原爆先生 <http://hiroshima9.com> post@hiroshima9.com

資料館にも行ってみたいと思いました。



※前回は実際に参加してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

今までは実際に落とされた人の気持ち
をあまり考えたことがなかったから
きっかけとなったので良い経験だった。
私が一番おどろいたことは人がすぐに
亡くなってしまおうと同時にその姿も消
えてしまおうということです。私は話しを聞く前まで
人の骨は絶対にずっと残るもの、という風に
思っていました。しかし私は一番最初に聞いたとき
には不思議に思いました。しかし、原爆は私達
が思っている以上に勢いが強く、温度が外側
が7000度、内側が100万度と太陽よりも熱い物体
が自分達の600mというすぐ近くにあったということ
新しく教えてもらおうと、骨も溶けてしまうのでは
ないのか、くだけてしまわないのか、ということ
に気づき、納得しました。また、爆発によって
空の色が赤や青、黒などが混じった不自然
な色だ。たということと想像すると、ただで
さえ音だけで体がこわいのに、うわっさまで青かった空
が全く違う世界のように変わってしまったらこわいと最初は



名前を空欄に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう



原爆先生の話を聞いて戦争は、とてもひどいことがわかった。びっくりしたところは、たくさんあって一つ目は、原爆のひょう雨は太陽よりも高いということがびっくりした。あと60kgあったものが1kgかきもえついでないのに、広島を火燃きつくすはかい力があったとてもびっくりした。その原爆のせいで、約人口の40%は死んでしまったことは、とてもこわかった。あと原爆のばくはつした真下にいる人は、一瞬間でこの世からけしきることとてもこわかった。

ばくはつは広島ではなく、長崎の平和公園には行かなかった。あつても長崎でもたくさんの方が死んでしまったこともわかります。戦争とはとてもひどいと改めて感じました。



じゅごう
原爆先生の特別授業を受講して



希前には涙がこぼれ落ちてきました。

私は、広島島の原爆の事に興味があって、
 『はたしのゲン』などのまん画や、クラスで女子きな物
 しょう介などの時に、この事実を五年生ぐらいの
 時パソコンで作ってしょう介したりしていました。
 なのでこの授業は良い意味で楽しみにしていま
 した。まん画などでは分からない本当に体験
 した人のお話が聞けてうれしかったし、資料館
 にも行ってめたくなりました。なにより戦争がどんな
 に醜く最低なものか、改めて感じ、想いま
 した。誰も楽しくない、誰かが喜ぶ訳でもない、
 そんな事を当時の人は本当は思っていたはずなのにそれ
 なのに戦争をしてしまうという人間をとっても恐しく
 感じてしまいました。かわいそうなんていうものじ
 ゃないと思いました。改めて、絶対に戦争
 はくり返してはいけないものだと思いました。つら
 かった事、思ったしたくもないことのはずなのに、
 貴重な証言を残してくださった義三さんに本
 当に心からの感謝がゆから、貞徳さんにわざわざ
 おいそがしいながきてくださって本当にありがとうござ



名前を正確に記入してください

原爆先生^{じゅこう}の特別授業を受講して



ぼくは池田先生の話を聞いてびっくりした
ことが二つあります。

一つ目は原子爆弾投下の都市の候補です。

ぼくは池田先生が投下の候補と言ったときぼく
はすぐに広島、小倉、長崎、そして東京、大阪が
候補だと考えました。ですが池田先生の話では
広島、小倉、長崎、横浜、新潟、京者^{けいさ}と言ったのです。

ぼくはびっくりしました。しかし池田先生は候補
を言う前に投下都市の条件を言っていたのを思い

出しました。それは①直径5kmを越えることと、

②平野であること③空襲がなかったということです。

東京、大阪は平野ではなく空襲はたびたび

あったと考えられています。ぼくはそのときなぜ、

東京や大阪が候補としてあがらなかったのかか

やとおかりました。二つ目は原はくドームが

広島県産業奨励館^{しょうりくくわん}だったという事です。

ぼくは池田先生の話を聞いて広島に

行って見たいと思いました。そして戦争で

死んでいった方々の冥福を祈りたいと思います。



事前は実際に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう



私は、今日、原爆先生の話を聞いて、色々な事を思いました。

一つ目は、なぜ原爆を落としたり、戦争をしたたりするのかなあーと思います。

私は、人が苦しんだりしているのが楽しいかなと思うし、人が亡くなっていく何か楽しいのかなと思いました。人が亡くなっていくのというのは、一人の命をうばうという事なのです。

私は、今日聞いて原爆ドームにいきたいと思いました。

私は、そのドームに行つて色々な事を知りたいと思いました。

私は、体験してないから何もわかりません。だから、私は色々な事を知りたいとおもいました。

また、そのうのビデオをみて、げんぱくのこわさやくるしみなどがビデオ全部から、つたわつてきました。これからの生活をしあわせだと思いくらして行きたいと思ひます。



名前は裏面に記入してください

じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

私は、あまり原爆のことが、あまりわかりませんでした。

でも、今日、原爆先生が来てくださったおかげで、その時の状態がわかりました。

けれど、なぜ原爆が起きたのかか、しりたいてす。なぜ、日本のいろんなところにおちてくるのかか、とても不思議です。

広島には、行ったことはないけど、

広島について、原爆ドームに行くと、

また、わからないことを、して、

いろんな人にも、広島のことなど、

(原爆のことなど)を、してもらいたいんです。

広島のことを、してもらって、

その人たちにも、

「広島に行ってみたい！」
と思、てほしいです。

私の上のお兄ちゃん、高2(17歳)で、今、このように、あ、たら、とても、かんがえられま



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して



1/16K

この授業をとおして、学んだことが大きく分けて、2つあります。

1つ目は、「どんなときでも、冷静になって正しい判断をする」とことです。兵たいさん達がバスにのっているときに、「目かけて...」「助けて...」「兵たいさん目かけて...」と叫んでバスにのってまようとしていたのを見て手をひきはらってしまったり、ひるかスツルッとはかかれてしまったり。その時、私^{たち}は「どうする」ともできなかつたと言っていました。その時、私は「どんな状況でも冷静になって、正しい判断をすればいいんじゃないか」と学びました。

2つ目は、「非常にたいいの時こそ、人の気持ちを考えて行動をやめいれた従う」ということです。非常にたいいの時こそ知らない人とでも心を一つにしてがんばらなければダメだと思ったり、戦争中のとき、みんなの気持ちバラバラだったら、非かいは増えるし、目かけることもできる人でも助けることができなくなってしまうからです。なので人の気持ちを考えることは大切なことだと学びました。そしてあらためて、「戦争」というものの

を知ることもできました。



特定非営利活動法人原爆先生

じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して



原爆先生の話をきいて、戦争はやってはいけないと思ったし、どれだけ地獄でつらいのか話がよくなりました。

目の前にやけどで真赤になってたすけを求めてもたすけてあげることができませんが、話もきいてあげることができないなんて、すごく悔しいしつらいんだと思います。

死体を処理するために皮はめくられて、においも強烈で生きている感じもしない人をおぶるなんて想像もつかないし、若い年でそんなことをするなんて今では、ありえないことだと思います。

やってるうちに、においもやけて皮がめくれている人に対してなれてしまったときいてそれだけ死んでしまった人かいて、人間はなれてはいけないことに対して、すごくなれてしまうんだと思います。

最後の原爆先生のお父さんの泣きながら



名前と氏名は記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう



11/11

池田さんの話を最後まで聞き強く心に感じたことは、広島に歴史があり、興味もつことができたことです。なぜなら池田さんの父親「義三」さんが実際に体験し、その時のことを90分という短い間で分かりやすくまた、興味をもてるような話が聞けたからです。原子爆弾のことやなぜそこに落としたかなどが分かり、社会の授業でも生かせるような内容だったので、すごく勉強になりました。

「義三」さんが体験した実際に聞き、頭の中でも想像できて、「義三」さんはとても勇気があり、とてもたくましい人だなと思いました。池田さんのように、戦争のおそろしさ、原子爆弾のことを伝える人がいなければ、このようなことはあまり知られなくてしまふのだらうと思い、それでは一つのもので被爆した人たちの思いや悲しさが伝わらずに戦争があったということさえなくなってしまうと思います。なので池田さんのように教えて、伝える人のおかげでいつまでも忘れられず、戦争後の建物が世界遺産となり世界に教えるということが被爆者にとっても当時の兵隊の人達にとっても一番分かってもらいたいことだと思ひます。なので、しっかりと次の世代やその次の世代の人達にも伝えていくことでいつまでも伝えられていき興味を持つと思ひました。



原爆先生の特別授業

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう



私は今日原爆先生からお話しをきいて、戦争の又変な
 こわさ、そしてどうゆうことが起きるのかを、くわしく
 しろことができてきました。私があそここわいと思つたこと、
 爆弾が落ちてくるときに、まず、ピカッとひかり、その後から
 衝撃波が、大きな音とともにくるとゆう所で、原爆先生が、
 やはり、ピカッ↓と、打つときに、びっくりしてしまいました。しかし、私には
 何だかきいて、いるに、何となく、こわく、なれた、けれど、本当に爆弾があ
 ち打つ所、に行くと、人は、さう、さう、びっくりして、うしろを、向か、ると
 思う、頭が、真白、になる、と、い、う、何に、打つ、か、と、い、う、思、い、
 ます。それ、は、な、ま、に、私、た、ら、さ、どう、し、て、い、た、の、で、し、ょう、か、。私、が、そ、
 う、く、分、か、り、ま、せん。でも、私、の、よ、う、に、何、も、あ、ら、ま、い、の、か、分、か、ら、な、い、と、い、う、人、の、こ、
 の、あ、つ、ま、た、人、も、た、ら、さ、ん、と、思、い、ま、す。そして、私、は、そ、う、い、う、こ、わ、い、と、思、つ、た、こ、と、は、
 大、か、い、し、ゅ、ん、で、き、え、た、し、ょう、と、ゆう、こ、と、で、す。体、の、あ、ら、ま、い、か、ら、な、い、
 なく、は、し、ょう、は、つ、し、て、し、ま、い、~~果~~、~~実~~、~~に~~、~~か~~、~~け~~、~~し~~、~~み~~、~~が~~、~~残~~、~~り~~、~~い~~、~~た~~、~~ま~~、~~ら~~、~~な~~、~~ら~~、
 と、ゆう、の、は、見、て、い、た、人、も、あ、ら、ま、い、と、い、う、こ、と、を、し、て、し、ま、う、と、思、い、
 何、に、し、て、い、た、ま、ま、残、り、し、ま、う、の、は、こ、わ、い、し、な、い、と、い、う、こ、と、を、し、
 かな、く、ま、じ、ん、な、こ、と、だ、と、思、い、ま、す。打、つ、と、い、う、人、の、中、に、は、ま、だ、赤、い、人、
 の、あ、ら、ま、い、も、い、ま、す、と、思、い、ま、す。それ、は、私、も、あ、ら、ま、い、の、あ、ら、ま、い、を、
 し、ま、う、の、は、か、わ、い、な、い、と、い、う、こ、と、を、し、ま、う、の、は、か、わ、い、な、い、と、い、う、こ、と、を、し、ま、う、
 の、は、か、わ、い、な、い、と、い、う、こ、と、を、し、ま、う、の、は、か、わ、い、な、い、と、い、う、こ、と、を、し、ま、う、



名前と愛称は記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう



11/11

私は今「はたしのケッ」を読んでいます。
 「はたしのケッ」でもひびかたたぬおろ、引はる
 と手や足などが」とゆてしまう。そのようなことが書か
 れています。私は本当にマンガに書いてあることが
 起きていたなんて、びっくりしたし、おそろしからたです。
 「はたしのケッ」を見た時、「こんな風になつてしま
 うなんて信じられない」と思、たけど、実際には、
 もととひびかたたぬおろなど思いました。
 本や資料館などからわからぬことと、体
 験した方に聞くこととでわかるようになりました。
 今はもう、体験した方達が少なくなつてゐます。
 原爆先生などが戦争を知らない子供達に戦
 争のひびかたを教えたくたさ、私ももっと興味
 を持ちました。原爆先生のお父さんが「言
 つてくれいすきる」という言葉がずっと心に残つ
 ています。それは体験した人からこゝろでわかるこ
 となのかな?と思、ました。そして、資料館
 と実際に、全然ちがふことはわかりまし
 た。また「また」わからぬことは、たくさんあります。

特定非営利活動法人原爆先生 <http://hiroshima9.com> post@hiroshima9.com

わからぬことは、図書館を使つて調べたいです。



名前: 奥田 龍人 (おくだ りゅうじん)

原爆先生の特別授業を受講して



ぼくは原爆先生の話を聞いてぼくはとても
すごいなと思いました。

とてもあそこまで原爆がこゝまでいい
ものだとはいせんせん想像もできなほどと
てもすごいものだとおどろきました。

それに話を聞いている中でとてももうびっくり
したことがあります。

それは原子爆弾が時速300kmでとんで
くることです。

300kmでとんでくるといふことはとてもす
ばらしい速度でとんでいくということです。

そして映像を最後に見ていてとても
びっくりしたことを先生のお父さんが口
にしたのでうそではよとぼくは思ひながら見て
ましたそれは先生のお父さんが戦争のことかいろいろの
ているはくつがんにいつたときの話で、う、かたまた
た人の人形がありそれを先生のお父さんはきれい
きるといつたところがぼくのいはいのいんげんをうけたと
です。とてもこれで学習できた人ではないかと思ひます。



原爆先生の特別授業を受講して



私は今回、原爆についてをはいじめて知ることが
 できました。私自身も、長崎と広島で、戦争
 中に、原爆がおとされたということは知って
 いましたが、原爆ドームなど一度も行っ
 ことがなかったので、あまり関心はもってい
 ませんでした。なので、今回受講して、改めて、
 戦争とはせうたい、サッパリ、知らないもの
 とわがりました。と同時に、原爆のおとされ
 知ることができました。原爆がおとされた
 場所の近くの人には、とてもひどいサッパリ
 ふうと聞いていましたが、おとされた後
 液が出るなどを聞き、私が思ったよりも
 には、フーッという音がしたんだな、と思
 ました。リトルボーイが爆発したとき、なんと太陽
 よりもあつく、さらに600mという近さに
 あると知って、そうフーッするだけで、熱くな
 った。この2時間だけでも、たくさん
 のことを学ぶことができました。いつか原爆
 一か所には実際に行って、かみさんとたくさん
 のことを学ぶ



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

養

前回は実際に参加してください

話を聞いて、知らないこともたくさんありました。とくにおどろいた事は、原爆の「リトルボーイ」が4トンもあり、3.12にもあつたヤとです。それに、熱線などにあたると、人は炭になって、消えてしまうというのがとておどろきました。すごいなと思つた事は、爆心地から150mはなれていて、広島県産業奨励館だけが残つたことです。今もあるのです。すごいなと思ひました。他にも、ラジオゾンテ」といふ機械や、ゴルフボールくらゐで、広島市が燃えてしまうということもびっくりしました。それに、資料館や、広島県へ行つたてとはないので、行つてみた」と、思ひました。池田義三さんは、21おん人上で行かなければいけないのに、17才で、死体を燃やしたり、火事を消す作業や、応急処ちをした」とおどろかした思ひました。



名前と住所を記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう



ぼくは話をきいて、原爆のことは知っているけれども、きいていて、しても、おもしろいかなと感
じました。

一つは、原爆(爆弾)のことはです。

「ウラン」というのが爆弾だけ爆発して、60kgものウラン
が爆発したら、どうなるのかとかんがえるし、ものす
ごくこわいです。

二つは、へいたいさんのことです。

話をきいていて、へいたいさんのことがたくさんでてきたけ
ど、ぼくが考えていた、仕事とは全くちがくて、して
も、いい人な仕事でビックリしました。

三つは、リトルボーンのことです。

アメリカが作った、リトルボーンは、ものすごくいいかいら
くて、どうやってつくったのかわかりたいし、池田さんが今は
その数千倍の力をもったのがそんなにかいするといってい
たので、とてもこわいです。

これとおして、とてもいい人きょうたな、たし、
社会などでもたくさんきょうしたいです。

湯野宮 祥



毎前は文明に殺人して大がたい

じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して



1/11

僕が原爆先生の特別授業受講しての感想を色々書いていきます。

広島に投下された原爆「リトルボーイ」は落下する時に時速300kmにもなると原爆先生が言っていたので計算してみると地上から10km近くはなれた9632mからリトルボーイを投下するとエノラ・ゲイからリトルボーイを切りはなしてから爆発するまで数分間しかないということが分かりました。

そして、^{空爆}主体量60kgのうち使った量たったの1kg程度、ゴルフボールぐらいのサイズだったのに広島市人口のうちほとんどを巻き込みそのうち40%にあたる14万人もの人が亡くなるのはとてつもなくすごいことだと思いました。そして、とてつもない熱、音より速い衝撃波、死者のうち半分の2万人を亡くした放射線、人間には無くてはならない空気がなくなる原爆~~爆~~アメリカの科学者はある意味すごいと思いました。

最後にもし主体量の60kgのウラニウムを使っていたら日本は今無かったのではないかと思います。



各所に設置した入会のご案内

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう



私は、原爆先生の話を聞いて、感じたことがありです。それは、戦争が、どれだけ大変だったかという事です。広島に原爆が落ちた時の死亡率は、40%で、もし助かっても、その後、たゞまきのような炎で焼死してしまったと知り、その時、どれだけ、広島の人々が苦しんだのかは伝わって来ました。また、原爆が落ちた時の温度は、3000℃で、その近くにはいた人は、体の中の水分が蒸発して、すみのかたまりのようになってしまい、その後、衝撃波でくたけられて、映像で、人が座っていたのに、白い光が消えた後には、その座っていた人がいなくなってしまうので、びっくりしました。原爆が落ちた後の広島は、灰色で、何もなかったけど、今はどうなっているのか、もっと戦争の事がくわしく知りたくなりました。原爆先生の特別授業で教えてもらった、戦争の大変さは、いつまでも、忘れないでいたいです。



名前や年齢は記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこウ



ぼくはこの話を聞いて原爆についていろいろと興味を持ちました。1つ目はエノラ・ゲイという飛行機で原爆をおとしたものです。たぶんがどうやって作ったのかなども調べてみたくなりました。

2つ目は原爆「リトルボーイ」です。リトルボーイは広島におとした原爆で今ではリトルボーイの1000倍のい力をもったかくばくだんというものもかいておいてるのでこわいと思いました。

3つ目は、原爆のい力です。原爆は熱線や放射線などをはねていって広島をばくはつせせました。

2つ目とどうようにこの原爆をこえるかくばくだんは、国をもほろぼしてしまふんではないでしょうか。

この話を聞いてぼくは広島のはく物がくばくだん原爆ドームに行きたいなと思いました。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して



※前記裏面に記入して、返信

1/1

私は原爆先生のことを聞いて原爆を
なめてあげたいなと思いました。

7000°Cの少年とゆうタイトルの意味
も分かり、今日の2、3時間目は今までの
中で一番きょうみをもちました。

池田義三さんが17才で軍兵に入り、
い体のしりや手当てなどをすくまや
り、すくまなれるのはすごいと思っ
ました。私は原爆が落とされた場
所にきょうみをもちました。そし

て、原爆ドームに行ってみたいと思
いました。義三さんが人口の歩く姿や
サンプル品を見た時、「きれいすぎる」と
言ったのは、自分が体験したことを
思い出して言ったのだと思います。

原爆ドームの中にある物でもすごいと思っ
ていました。サンプルよりすごいやけだつ
たのだと思います。大人になる前に原爆ド
ームへ行き、いすいすなことにきょうみをもちたい



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

名前を宛先に記入してください



11/26

今日原爆先生のお話を聞いて広島に行って、資料館や、原爆ドームを見てみたいと思いました。なぜならこの原爆先生のお父様になつたようにお話をしていただき、実際の様子を主に知ることができました。原爆が落とされたしゅんかんいまなりでびっくりしました。でもこれのようなことが本当に起こったと思うと、まだあまり信じられないです。その落とされた原爆は重さ470kgあり他にもいろいろなことが知れました。私は毎年、終戦記念日に行う市役所の戦争映画を見ている。今年も「ほたるのはか」でした。これまでいろいろな映画を見ましたが今回の話の中には、全く知らない言葉、実際に起きた出来事などなどたくさん人のことを聞けたので、もっと見近に知るために広島県の原爆ドーム、資料館に行つて妹や、次の世代の人々とこの戦争のことも伝えて行きたいです。



原爆先生の特別授業を受講して



名前を記入してください

ぼくはがんばくせんせいのお話をきいて、ぼくは、このがんばく
 のことがわかりました。その理由は、リトルボーイの中
 にあるランダムにガフがすべてぼくはつとしました。ひろ
 はたけでなく、おぼん日本全体がぼくはつにまきこ
 まれてしまつた。おぼんからでず。いけださんの
 お父さんは、いけださんとひろしまにいらつたときに、
 中にある人達をみて、それなごうとつていました。
 ぼくはなぜキレイなまきこつたのかをかんがへ
 ていました。すると、つとつたかつた。まきこ
 のいけださんのお父さんは、がんばくを本当にう
 けたのは、もつとつとつたかつたをみるのを見てい
 たからだとおぼれます。そして、いけださんのお父さ
 んがたつたかつたの人からてがみかつたとつたのか
 とてまかんどうしました。でも、おぼんときつたを
 知つた男のこがしんではたのかいかんねんでした。
 さつたに、いけださんは、つたのは、リトルボーイ
 の中心まきこつたか100万で、外かあか70000
 て、おぼんよりあつたのかおとつた。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して



※前回は裏面に記入してください

何本かえいをみつけたし、たしこまが
 った。でも、せんそうが原爆くにき
 りをもちこはてきたと思つた。元
 からけんはドームがクリウかんには
 いきたいとあもつていたし、けんはく
 のほなしもききたがったので、か
 たのけつこうおかりがすく、まきとりか
 すが、たので、はめんをさうけうしな
 がら、まきこことかいてきた。話をきいて
 11に、染がすかか、あつた人、あつた
 ものをさうさうしてみると、おそろひで
 むこいものか、うかん。うかんて、じつ
 いのけんは、く筆の筆しんを、まき
 るというし、うかんにも、まきようみ
 とあつた平和公えんというのも、せい
 いてみたいとあもつた。さいこの
 義三さんの、イ本けんのはなしで、なつた
 くかんてい、いさう、一本目のえいさうで、
 一しんにして、人が消え、たかどろいだ。



原爆先生の特別授業を受講して



※前回は実際に記入していただきました

私は、広島県に、落とされた、
 原爆について、ほぼなにもしり
 せんでした。先生のほうに、お父
 さんが原爆でなくなつてしまつた
 人には、とても、不愉快だと思ひ
 ます。でも、今日、原爆の恐しさ
 をしりました。ウラニカゴル7ホー
 くらいの量だけで、広島県の市が、
 破壊されてしまふなんて、想像し
 ただけで、¹¹「¹¹」¹¹とします。
 自分の600m上は、
 7000℃～1000000℃もの
 「あつたい」をはるかにうめまわす。温度
 であつた。太陽の表面は、6000℃は
 のだ。。。しかも、日本には、
 2回も落とされてゐるのだ。
 こわい。死亡率が40%だ
 なんて、高すぎます。こんな
 広島県に行つて、原爆はーと、



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは原火暴のひがいをうけた
人はかあいそうだなと思いました。
なぜかというと、広まの人とは
ば、ちりをうけただけなのに
、ひがいはかあいあまるほどやけ
てしまったり、ひがくしてしまひ、その
しょうじょうでしんでしま、たりくるしんだリ
とたと思ふからです。

いまげんばつのでんをきき、こし
ていするのは、たぶん、ひがく者
ゆげんばくのまろしさをしる人
かまたそうかうかいよりしてりると思ひ
ました。

さらに、ぐんたりの人もかあいそうだと思ひま
す。ひがいのこけりをみたリ人をたおけうの
かたりしたと思ふからです。

先日、ぼくたちのために来てくれて
ありがとごいしました。ほかのかが、こじん
にも原火暴のふえろしさをうたえてくれたり。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

名前は裏面に記入してください



最初、僕は原火暴について、
あまり知らなからたけれといたたい、
広島が「いかに」に「た」というのは、
分かっていたけれど、おそこまで、
ひか「い」が、あんなに、知って、
とてもビックリしました。

そと、僕は原火暴は、地上で、
火暴発していると思っていたけれど、
まさか、上空の高いところで、火暴発
していたなんて知ってビックリしました。

あと、リトルボーイの火暴発の瞬間
の中心温度が、100万度もあって、
しかも、表面温度が太陽とも
超える7000度もあってビックリしました。
それに、火暴直下の気温が「きょうかく」
の3000度にもなるなんてとてもビックリ
しました。

原火暴について先日は、話しに来てくれたこと
どうもありがとうございました。



原爆先生の特別授業を^{じゅこう}受講して



名前は裏面に記入してください

僕は、この授業を通して、もう一度原爆のすさまじさやおそろしさを知りました。死者の数、爆風の速度、そしてなにより、体験した人の話は、具体的で、より深く学ぶことができましたと思います。特に、原爆の爆発した時の火の玉の直径や、温度はいくら数字で表わされても納得する理解はできませんでした。そして、その資料を見て、タイトルにあった「7000歳の少年」の意味が分かりました。原爆が「7000歳の少年」、その温度が「7000歳」だからではないでしょうか。僕は、今まで色々な戦争についての話を見たり聞いたりしましたが、兵隊だった人の話は聞いたことがありませんでした。投下されて、九日間も遺体の処理を行っていたことは、とてもおどろきました。それを、17才の人が行っていたことも、おどろきでした。そんな作業を九日間、僕ならできません。高熱の「できごと」に「物」というのが、17才であることを忘れるほどでした。色々と、生々しい痛々しい表現ができて、目や耳を、ふらふらしたがりたくなりそうでした。しかし、原爆でたくさんの方が「たくさん、苦しんだ」という事実には、目を「ふらふら」、事実をしっかりと受けとめて、知ることが、一番大切なことと分かりました。たくさんの方が死んでしまったのは、悲しいくやしくも思います。知ることができなればともう二度と同じことをくりかえさないように、後世に伝えていきたいと強く思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

名前は裏面に記入してください



「原爆」という言葉は、聞いたことがあるように、あんまり意味を知りませんでした。

私が、一番心に残っていることは、原爆のいっしょくです。動画を見た時に、そのことを知らされました。1発落ちただけで、黒いサむリが、いっきに、広がって、黒いサむリが消えたと思ったら、いっしょんで、火の海になっていったことです。リトルボーイは、1発で広島市全体を火の海にしていたので、いっしょくが、すこいと思いました。

今は「原爆ドーム」という名でみなさんが知っているたて物は、前の名前は「広島県産業^将奨励館」という名前だったことを初めて知りました。そこは、今も見ることが出来るのなら、私は、その「原爆ドーム」を見ることが出来るのであれば、見てみたいと思いました。

原爆で亡くなられた人、兵隊として亡くなられた人は、今の日本があることに感謝します。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう



この間は、原爆のお話をして下さり、ありがとうございます。原爆のことを、くわしく知ることができました。特におどろいたのが原爆のいりよくです。7000℃という、太陽よりもあつい温度だということ、衝撃波の速さが、毎秒440mだということにおどろきました。なによりおどろいたのは、爆発した原爆(リトル・ボーイ)で、火然しょうしたのは、60kgのウランのうちのたった1kgだけだったということ。ゴルフボールほどの大きさのもので、ヒロシマがあのようになってしまふのだったら、60kg全部が火然しょうしたら、日本はとらなってしまうのたるところかと思ふと、とてもこわいです。他は印象に残ったことは、池田義三さんが、原爆資料館に行ったときに、きれいすぎる、とおっしゃったことです。あの人形がきれいすぎるというところに、私は、実際の人々がとらなにひさんな姿だったか、少しかた気がしました。「7000℃の少年」というタイトルの意味も、と中でわかりました。やはり、戦争は何も良いことはないと、改めて感じました。自分でも、よく調べてみようと思ひます。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう



ぼくは原爆先生の言葉を聞いて
 原爆の強さをあらためて知ること
 ができました。原子爆弾のその
 熱糸臭の熱さその後にくる強い
 衝撃波の強さで建物は大
 おれその衝撃波で熱糸臭
 がまたたき熱さ7000°といふ600m
 上に太陽があるかのような熱さは
 想像してみるととてもおそろし
 い物だとぼくは感じました。そして
 たった1kgのウラニウムだけで広島
 が、かいめっしてしまふのだからあの59
 kgのウラニウムがあの時に
 ぼくはっをしていたらどうなってい
 たかがとてもおそろしです。そしてたっ
 3mで47もをほこる原爆リト
 ルホ一人この授業を受けてぼく
 は戦争をあらためて考えまし
 た。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう



私は、一番最初にタイトルを見て、7000℃とは何のことなのだろうと思いました。でも見た後に、リトルボーイのははが200m、ふくれたときの温度ということが分かりました。今回の話や画像、動画を見たりして聞いていて、一番印象に残っているのは、リトルボーイが広島に落ちてきたときに町中に広がっていったけむりです。あれが一番印象に残りました。そして、原爆先生はウラン60kgが全て燃焼したらどうなるかと皆に聞いていました。私はウランが60kg燃焼したら、広島には何も残らないと思いました。それはどうすごい空しくなったということにおどろきました。義三さんは原爆資料館に行って、「きれいすぎる」と言っていたみたいで私は、原爆でやけどなどをした人達の姿を想像した人形が本物とちがってきれいすぎるということなのではないかと思います。原爆先生の授業を聞いて、リトルボーイという爆弾がとれたけむりがいかにすごいか分かりました。このことを通して、原爆について興味を持って学習したいと思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を^{じゅこう}受講して



ぼくは、原爆先生の話を聞いて、とても原爆はまけん
なんだなと思いました。
なにせ、人が熱さと風で、
えいぞうのようないや、それ
以上にや、てしまふんだ
なと思いました。それに、
写真で見た人形よりも、
ひどいことになっている
ことに、とてもゾッとした。
思っていたのは、体が赤とくろに
なっているだけだ。うたけと人形
が、とても上回っているのをさらに
上回っていたことを考える
とさらにこわくなってきました。
それにミサイルはいつから爆発
するのか、空で爆発するのは
とても不思議に思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう



名前は裏面に記入してください

僕は原爆先生の話を聞いて、戦争のことを少し考えるようになりました。原爆のことや被爆者の方々の話を聞いて心が苦しくなりました。少しだけですが二度とこんなことはさせないという気持ちでこみ上げてきます。元々広島へ行くことが多く、原爆ドームか、平和記念公園などを通りすぎますが僕はめんどくさいからつまらないからと言ってあまり行きませんが、これからは、少し戦争について知るために、たちよてみようかなと思いましたが、原子爆弾は、すさまじい爆弾ということを知り、いまいたからその想定をはるかにこえる爆弾でした。そのことを知って、ものすごくおどろきました。この爆弾をくらってよく生きてこれたと思いましたが、被爆した方々の話を聞いて



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して



今日は戦争、平和をよく学んがえ思う日になりました。

ぼくは、今年のなつ広島平和記念資料館へ行って出て、リトルボーイのこと多くのい品から学んだことがありそれですべてをし、たつもりでした。ですが今日の池田さんの学習により

原子火暴弾という時の様子、どう下に条件があったこと、始期は、目標が6ヶ所であったことがわかりとても興味をもつことになりました。そして、7000℃の少年^{イコル}＝7000℃(温度)の少年(リトルボーイ)だとわかりました。そしてはずか、1kgの量のばくはうで広島市全体をかきめさせる石破か力にみぶるいしました。

さらに、人間がこのような核をつくりだしたことにうがいしているし、人を殺し喜ぶ人がいるということにきうふのなまらぶるえにしみがうまれました。しかしここでまた戦争をおこすのではなく、話をったえ、なしていくがわだということも思いました。

日本人として、そして広島出んの者として真じつをつたえていきたいと今日学びました。



各前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう



私は原爆はとても危険で悲しいものだと改めて、感じさせられました。

私がこの話を聞いていて、とてもゾッとしたり、ショックだと思ったことは人とは思えない人達が兵隊さん、助けてよと言っていたが見のかすしかなかった。たことだと思いました。本当はみんな助けたいと思うと思うけれど、たすけられなかったというふうに言っていて、その池田さんも、とホリすぎしかなかったと言っていた。ビデオでとても辛そうだったのを、そう思いました。

あと、ばくはつ のビデオを見た時に人が一瞬間にして消えてしまっていて、びっくりしたし、けむりで、いきにくくていていて、とても大変なものだと分かりました。あと、落とす都市を決めたり、日本のおうすを写真でとっているアメリカはなんスゴい人だろうと思いました。しかも、それで色々な人がいて大変な人がたくさんいて、それをか人たんに二回も落とすとしてほしいと思いました。私は、それから原爆をしたら、いびかしくなることが分かったし、やはり戦争はしてはいけないと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を^{じゅこう}受講して



私は、お話を聞く前は、頭の中でイメージの映像が
しょうじき、かばなかったのですけど、お話を聞
いて、博物館などで見るものも、しりぞきを受
けると思うけど、実際にお話を聞いたたり、
聞いている間に映像を入れてくれたりすると
私の頭の中も整理されて、とても分かりやすか
たです。私が「番い」に残ったのは、「リトル・ボーン
の映像と「池田義三さんの話」です。なぜなら
リトル・ボーン映像は、本当の映像が
分からなかったけど、その一シーンをとらえた
映像で、この一シーンの間にこのような
ことが起こっていたんだ。というように
思いました。「池田義三さん」のお話では、
原爆ドームの近くの原爆資料館で、おふか
焼けている人形を見た時に、「きれいだな」
と一言言ったのはなぜだろうと思いました。
でも、私は実際に行ったから、こんなものでは
ない。と思ったのだと、私は考えました。
このお話を忘れないようにしたいです。



原爆先生の特別授業を^{じゅこう}受講して



名前を裏面に記入してください

私は、第二次世界大戦の事に、興味を持っていました。私の母が、その事をたくさん知っているので、私に戦争の激しさを言聞かせてくれました。改めて、池田先生の話を聞くと、とても残酷だなと思ってしまいました。その時の被爆者の辛さ、人々を助けようとする兵隊、そこにはいろいろな感情があったと思います。

「リトルボーイの話など、聞いて悲くなりました。たまたまで、あんなに広島がこわされてしまうのは驚愕でした。

被爆者は、人間ではないような姿で、はら回してたりしているときいて、本当にかわいそうだなと思いました。何の罪も無い人たちが原子爆弾によって、やけど(大ケガ)を負ったり、亡くなってしまうのはすこくひどい」と私は感じました。

何の罪も無い人たちが殺されてしまい、そして残念な事に、それは少ないわけでもない。40%も死亡していたのは多すぎたし、あの原子爆弾一つで、それだけの数人が殺されるのは言葉で言い表わせないくらい、涙が出るほど、悲しいと感じました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう



いままで「戦争」ということは良くないことだ
というイメージだけがたんとたたくあ、たけい
ど、今回の話を聞いて被害にあ、た たくさんの
人の様子や 遺体进行处理している様子を
知、たことで、「この原爆がたか、たら、今の日本は
なにか変わ、ていたか」「被害にあ、た人はどんな
気持ちだ、たのか」など、たくさんのことを深く
考えるきっかけにもなりました。

特に、今回の話ではまだ17歳の子が突然
起こ、た「原爆」によ、て、遺体をかたみけたり、
とても熱い中、自分自身も危険と隣合わせで
必死に生きていたことを知、たとき、現在の
平和で豊かな暮らしの中では考えられないし、とて
も興味深いなと思います。

そして、一番興味をも、たのは「原爆ドーム」で
す。はじめに、ドームの中の画像を見たときに、私は「こんな
もおそろしかたのか」と思いました。で、が実際に体験した人からあ、けは
「きれいすぎる」と思うような人形です。私は、そのことをふま、た
上で、原爆ドームを見学してみたいと思、ました。



※前は裏面に記入してください

じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して



ぼくは、体験したことなく、

分からなかったけど、でも話を聞いて

その時の痛み、その時の苦しさとゆうのが

分かりすごくつらかったのが分かります。

池田さんの話しては17才という若さで軍隊に入る

すごさがその語ります。

でもぼくは希跡だと思いはれた。

トラックを待っていてドラム缶に腰を掛けていながら

おそろしい熱風で熱いので肌がベロベロになっていた

のではと思います。

ぼくが一番ビックリしたのは衝撃波の速さです。

毎秒440mであるのに対し音速340mという

音速よりも速い衝撃にビックリしました。

つまりこれは、音よりも先に衝撃波が来て

その後、爆音が響くようになるのでこわいと思いはれた。

(爆弾：リトルボーイ)パイロットも言っていたように、

「衝撃波が二回来た。」というのは、

空中で爆波したのと、落ちた時に来た衝撃というのがある

迫力がものかたるという感情を持って、興味を持ちはれた。おかげでいいます。



原爆先生の特別授業を受講して



名前は裏面に記入してください

ぼくは原爆先生の話聞いて、ぼく達は体験していないのでまた本当の弓魚さはわかりな
いけどぼく達が思ってる以上に強いと思います。
一番は戦争をした人は考えるだけでとても悲し
いと思うのでこれからは戦争をなくしていけるよに
したいです。でもぼく達は少しづつ少ないと思う
けど少しでも気づかい、小さいことだけど気にかけて
いきたいです。ぼくだんの名前がリトルボーイと
いう名だったのでびっくりしたし、太陽が近づ
いてくるくらいの熱風がきたなんて考えるだけ
でこれです。川はたくさんの水があったり人が外
にたくさんいたのにいっしょでなくなってしまうのは
とてもびっくりしたと思います。原子爆弾投下の条
件はあったなんてびっくりしたし空しゅうカ
からた戸所をねらっていたのです。すごい戦争
だなと思ったけど、こんなことをしてはまず
いけないと思うし戦争をしても何も良
いことはないと思うのでこれからは戦争
をなくしたい国にしたいです。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

※前は裏面に記入してください



私は原爆先生のお話をきいて「幸せ」と「命」を学びました。原爆とは...一言ではいじりきれないような言葉です。私もその写真や映像を見たとき「なるがとまらなかつたです。だからと「幸せ」と「命」の大切さに気付きました。もしあの話をきいていなければ改めて気付いていなかたです。原爆がなくなつたたくぐみの大切な命。もしアメリカが広島にはばくだんを落としていなければとれどおの人が喜びとれどおの人が助かっていたのか...。そのことを考えるたびに、悲しくてしかたがありません。けれど私たちががんばらなければ何もいじりきれないと思います。悲しんで泣いた、先は見えません。前を向いて進まなければ天国にいる人がもと悲しいと思います。簡単に「死にたい」「死ぬ」「消えろ」といふ言葉を使うだけでたくぐみの人が傷ついているのです。もうあんな原爆をおこさないためにも、みんなの命を大切に守るためにも、みんなの幸せを守るためにもこのけんばくをいじりわすれずに、よして今日のいちにちいちにちをいじりもありがとうをわすれずに生きていきたいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう



ぼくは、原爆のことをあまり知らなかったけど、今回の原爆先生の授業を受けてとても、びびりたこととわかりました。軍隊の人が死んでしまった人をやぐことは、そのような勇気もいるとおもいます。そして、広島の人口の40%は死んでしまったけど、でも60%は、軍隊による活けられたからたんだと思います。もし、軍隊が活動をしていなかったら、多くの人が死んでいたと思います。

ぼくは、長崎の平和記念公園に行ったことがあって、たくさんの方が死んでしまったことをそこで知りました。展覧場はいけなかったけど、原爆先生の父親が「んじら」をみてきれい好き、美し好きと、たのは、当時は、ある言葉だけど、さんかくで、もけは、絶対、ひさんだ、たんだと思います。そして、あらためて、多くの人を命を守ったことにも、とてもかんしゃしています。



新着は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を^{じゅこう}受講して



私は、原ぼくといえは、大きなぼくだんだと思
っていました。でも、ちがいました。ゴルフ
ボール程度の小さなぼくだんでした。

しかも、私の想像をほるかに上まわる
ひさんな写真を見せていただきました。

私は、被爆者の方々が見たこうけいは、おねが
はりさけそうなくらいひさんだったと思います。

広島の方、5人に2人は、おなくなりになられていて
すごくショックです。池田義三さんは、20才からの
軍隊入りなのに、17才、4才もはなれて いるのになど
思います。18才の少年を、あんな、場所、命令に
したがわせるのは、あんまりだと思います。

私は、18才のとき、ちりょうをし、救命場所まで運ん
だ、女性のかたから、80才たった約60年後に手紙が
来て、「今、私は元気ですよ」と来て、きっと義三さんは、

あのとき助けていて本当によかったと思、ていると
思います。私も話を聞いて、女性を助けたおかげで
1つの命が救われたのでよかったと思います。

原爆は、人々の笑顔をなくすので、もうないといいなと思、います。



※前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゆこう

表

今回原爆先生のお話を聞いて、ぼくは、原爆の話を知ったことがなく、初めてだったので、すごく、原爆先生のお話がすごく心に残りました。特に、原爆での死者の人数が一番残っています。広島市の人口の約半分以上の人数の方が、原爆で亡くなった人だと思いました。その時、ぼくは、一つのひがいで、人口の半分以上の人たちが亡くなる人だと思いました。とても、悲しい事だと思いました。そして、池田さんは、17才でよく軍隊に入れた人だと思いました。それで、それがぼくだったら、17才で軍隊に入る事なんせったいできない人だと思いました。そして、原爆の大変さがこの話を聞いてよく分かりました。今回は、本当にとってもきょうな話を90分間ありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう



今日先生の話を聞いて、戦争、原爆はあそろしいものだと感じました。それは、原子爆弾の威力です。

60kg つめたうちの使われなかったのがたったの30kg

10分で広島町の町を焼く野原にするという事は、

つめこまれた60kgすべてが使われていたと思うと

ぞろとしました。また広島だけの被害じゃなかった

と思うし、家や建物のかきまもすべてかかない

場所になっていなくなるかと思うからです。

原子爆弾は、元素の原子核の核分裂反応を

利用した爆弾だったからこそ、あそまでの威力

を発揮したと思うし、「実験」として行われたか

らそのせいでなくなった広島の人々がとてもあわ

れた」と感じます。

原爆 当時やその後を描いた「はたしのケ」を

見た時に、今日の原爆先生の話とまったく同じこ

うけいがかえがかかっている、地ごと絵図た」と思うし、人

々の目にはすべてがこううつっていた人た」と感じます。

戦争のおもしろさ、むごさを次世代、また次の世代

に伝えていかねばならないなと改めて感じました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特^{じゆこう}別授業を受講して

表

私は、原爆先生の話聞いて、おどろいたことが、たくさんありました。たったの3、12Mの原爆が、広島を全体的におそうのは、すごい、怖いと思いました。

候補になつた都市で、京都が初めに選ばれて、最終的に、文化財などがあるから、候補にするのをやめたという所で、外国人はどうして文化財を大切にしたいのか、気になりました。

原爆が落下した時、カメラのフラッシュのような光で、階段に座っていた人が、一瞬間で消えて、人がすわっていた所に黒いシミができていたという所で、とても私はおどろきました。どうして、光ったときに、座った人が消えてしまうのか、とても怖かったです。爆心地の近くは3000℃で、すべてが溶かされて、一瞬間で水蒸気になってしまうのが、すごいなと思いました。たくさんの方が亡くなったので、もう戦争をしたくないと思いました。



※前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して^{じゅこう}



とてもしゅうげき的でした。

授業を受けて、興味がわいてきたものがあります。

それはリトル・ボーンがどのようなこうぞうで、どう造られ

どうやたら爆発するのか、ということです。

リトル・ボーンという名前なのだから、きっと小さな方の爆弾

なのではないかと思いました。もしそうなのであれば、小さな

爆弾でどうしてあんなに力強いのか、疑問に思いました。

そして、池田義三さんの心の強さに感激しました。

人を助けようという心のやさしさ。どんなにつらくても最後

まであきらめなかった心。現実を信じられぬというのでは

なく、そのどうしようもない指示がてき強さ。わずかに7才で

軍隊に入り、しっかりと指示がら守る様子。どれもすごい

物だと思いました。そして、今の自分にはない物だと思っ

ました。戦争、そして原爆をけいけんしていない私たちは、

こうんと言えりかもしれません。でもけいけんしていない私たちが

90分のお話でここまでスーパードンでも大きな出来事だったと

知れたという事は、実物のこうけいを見た人はもっとしゅうげ

き的だったと思います。だから、授業で学んだことを心に

刻み生きていき、「命を大切にしよう」ということを常に感じたい



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう



私が、今日、原爆先生の話を聞いて、一番印象深かったのは、原爆の温度が太陽の温度に近いことです。また、ビデオを見て、どれだけ、原爆が怖いものか、そして、どのくらい、人が亡くなったか、たくさん聞きました。あとは、今では、当時の原爆より、もっと、いろいろなあまげんばくか、あるのを聞いて、とてもびっくりしました。そして、原爆を落とす、こうほの、県が、たくさんあって、もし、広島に、あつちがう県に、おとしたとしたら、広島で、せくな、人は、今でも、生きて、いる、と思うと、原爆は、人の、人生を、決める、(いはいする)もの、だ、と思いました。

今回の、学習で、もっと、戦争について、知、て、自分か、未来の、人たちに、伝え、たい、ように、した、ら、思、いました。今日の、学習が、とても、ため、になりました。



名前は表紙に記入してください

じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して



私は、今回の話を聴いて今まで戦争という言葉が軽く使っていたと思えました。池田さんが話してくださったこと全てに想像がつかわりませんが、私達、戦争を知らない世代の人が聴いても手足がふるえるような恐怖と驚きを感じました。ビデオの時は顔をそむけたくらいおそろしかったです。原爆が投下された時、衝撃波がきた時、その後…何度も苦痛がおそい、何万人もの人が亡くなって、きました。そして今、まだ戦後70年しか経っていない、現代は大きく回復したと思えます。でも、あの悲劇を伝えていくために、あやまちをくり返さないために原爆ドームという負の遺産を残したのではないのでしょうか。日本人や外国の人のためにも…。私は戦争に関する本を少しだけ読んでいたことがあります。その本には遺族の方や被爆者の話が載っていました。その本と池田さんの話を重ねて考えると戦争がもう二度と起こしてほしくないこと、今を平和に生きていけるなら…ことを教えてもらったと思います。今感じている、この世に存在する、日常が実はとても幸せな、幸福なことだということ、みんなだと実感し、今の生活がとてもしっかりと楽しいことに気が来ました。この時代にするため、血を流してきてくれた人達にたいして感謝いたします。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して



名前は裏面に記入してください

私は、原爆と聞いて頭に浮かぶものは、死者、爆弾、武器、恐怖などです。どれも良い印象とは言えません。

私は、今回原爆先生のお話を聞いて、腑然思っていた以上に、悲惨なあたり、衝撃的であつて、おどろきました。本当に、その57分をどうやって、あの時、どうか?とも思いました。他、原爆先生のお話を聞くと、その生かした代償が、つぎまわりました。

お話を聞いて、一番印象に残ったのは、原爆投下直後この外で座って原爆を聞くのを、していた男の人が、原爆が投下された時、あつた熱線により、消えてしまったということでした。

そして、その黒い空が何かが残っていたという話です。私は、それを聞いて、原子爆弾が、ものすごい、威力だんだんと思ひました。

そして、その一つ印象に残ったことが、やはり、私は、最後に見せてもらった、原爆先生のお父さんの義三さんの動画の中に、言われた言葉です。義三さんは、被爆者の顔に映して、様子が悪い顔だ、と思ひます。動画のとちゆうで、義三さんが、涙をながしていましたが、私は、あの悲惨なことを思ひだして、だんだんと思ひます。私は、原爆を鑑賞したわけでもないのに、なぜか、原爆が、これほど悲惨だ、ということが、知らず知らずと



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう



ぼくは、原爆先生の池田さんの話しを聞いて、思ったことが2つあります。

1つは、原子爆弾はとてもおそろしい兵器だということです。ぼくは、今まで原爆は、大爆発を起して、放射線をまきちらすだけだと思っていました。しかし、池田さんの話を聞いて、爆発や放射線以外に、ものすごい熱で、しょうげき波もあったことが分かりました。さらに、今まで具体的には、どのように人が死んでしまうのか知らなかったのですがこの話を聞いて、知る事ができました。

2つ目は、原爆について、少し興味が出たことです。ぼくは、あまリ原爆に興味はなかったのですが、今回、池田さんの話を聞いて、おと原爆について、調べたいと思うようになりました。

ぼくは、今回、池田さんの話を聞いて、原爆についてもっと知りたいと思いました。広島にも1回行ってみたいですね。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう



ほくは、話しをきいてちよとこわいなと思った
こともありました。

自分が一番びっくりしたことは、太陽の表面の
温度より原はくの温度のほうが高い。しかも、太陽は
人間が住んでいるところよりずっと高いところに
ある。でも原はくは、東京スカイツリーの高(600m)
というすごく近くにある。その話しをきいてすごくび
くりしてしまいました。

あとは、死亡の人数にもびっくりしました。

それは、広島の人口は35万人でもそのうちの14万人が
亡くなった。そして約2万人の方が一瞬で亡くなった。
これは、5人のうちに2人が亡くなるということ。ほくは、
信じられませんでした。そして死亡率は40%。ちよと
こわかったです。

このように信じられないことがびっくりしたことが
たくさんありました。でもこれは、「現実だ」と思った
ときは、ちよとこわい。

今日はすごくまじまじな話しをしてくださって
ありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して^{じゅこう}



私は、池田さんの話を聞いて、はじめてしたこと
が何個もありました。その中でも一番びっくりしたこと
が2つあります。1つめは、「1kg」という単位で
す。なぜびっくりしたかというと、爆弾につか
われているウランがたった1kgしかつかわれて
いないのに広島をいっしょに7人でなくしてし
まうのかわたしは呆然とまりました。池
田さんがいっていた通りもし、1kgで広島を
をけせるほどのい力があるのに60kg爆発
すると思うとぞっとしました。2つめは、爆
発のい力です。なぜなら、7000℃という熱を
あびるということは、太陽につ、こんでいく
のといっしょなののでドキッとしました。
それに、町の真上で爆発するからかけが
なく3~4000℃が直接あたると思うとと
てもぞくぞくしました。その時の人間は、1
しゅんで水分がぬけて炭のじょう態ときい
た時とでもおとろいてしまいました。
貴重な体験をありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

※前には宛先に記入してください



私は、原爆先生の話しを聞く前に、少したけ戦争の話しを聞いた
ことがあって、そのときは、多くの人が死んでしまったんだな。と悲しく思っ
ました。でも、死体のおいや、爆弾の大きさなどいろいろなことをもっと
くわしく聞いてみると、鳥肌が立つような内容はかりて、びっくりしま
した。特に私が、疑問に思うことや不安になることがあります。それは、
ウラニ60kgのうち、たった1kg(コルダマ)で、あのほどの爆発力がある
とは思っていませんでした。もし、全て(60kg)が爆発したら、
どうなっていたのか、と疑問に思いました。でも、疑問たててはななく、
もしあの爆弾が東京にあてられていたらどうなっているのか、自分は
存在していないのではないのか、などといろいろと不安になっていました。
それに、人々は残酷な死に方をしていたので、お人の罪もない(戦争の間)
が、爆弾によって死んでしまった、ということに私は悲しいか、返し
してやりたいと、心の奥底で思っていました。兵隊には、17才で
入れられて、いやな思いをしながら活動している姿が、目につかぬ
(想像)上かりました。被爆者もつらいし、兵隊もつらいとか
わかりました。もし兵隊に自分かっていたら、恐れあまり動けな
くなってしまい、にげると思いますが、でも、よしろうさんは、そのような
思い、恐れなどに負ける兵隊としての任務を果たしていたので、
驚いて思いました。私もそのような思いに負けるか、かみよっていきたくです。